

・今年は20日が大寒でした。2月に入るまでは一年でいちばん寒さが厳しくなる頃といわれます。今年も例に漏れず、今週は寒波の襲来でたいへん冷え込むと予報が出ています。

まだまだ新型コロナウイルスも広がっていて、インフルエンザの流行も重なっているようです。ウイルス感染を予防するためにも、免疫を落とさないように、体を温めて疲れすぎないようにお気をつけください。

また、コロナ陽性や濃厚接触、あるいはそれ以外の病気やケガでお体を弱めている兄弟姉妹や教会の関わる方々がいらつしゃいます。そのような方々のことを覚えて主の癒しを祈りましょう。

・「ボランティアグループしおん」による食品無料配布の実施へ寄付のお願い

次回実施日は2月4日（土）です。配布用の食品の提供を募集しています。1月29日まで受け付けています。ご協力とお祈りをお願いします。

寒さの中で生活の不足を覚えている方に必要なものが届くようにお祈りください。

【新型コロナウイルス対応】

《礼拝出席は事前申込にご協力を》

ご出席者の日ごろのご協力を感謝します。今後も事前の申込をお願い致します。

《礼拝堂での出席を希望される方へ》

※体調がすぐれない、倦怠感があるなどの際は出席を控えてください。

※換気を行っています。コートの着用など防寒には各自でご注意ください。
膝掛けの貸し出しもご利用ください。

心を動かされた者、霊に促しを受けた者はみな、会見の天幕の仕事のため、そのあらゆる奉仕のため、また聖なる装束のために、主への奉納物を持って来た。

出エジプト記 35 章 21 節

エジプトでの奴隷生活から救い出されたイスラエルの民は、紆余曲折を経ながらも神様に導かれ、神様を礼拝する場所である幕屋の建設に着手します。

出エジプト記は、イスラエルが救われて神の民として整えられることを記します。この書は、幕屋が建設され、そこに主の栄光が満ちたことで締めくくられています。このことから教えられるのは、私たちが救われることは、神を礼拝する者として成長し、神の栄光を現わすためだということ です。

さて、今日は35章と36章から、幕屋を建設するイスラエルの姿を通して、主に仕えることを考えたいと思います。

幕屋の建設に尽力したのは「心を動かされた人々でした。主への奉仕は、主の呼び掛けに心を動かされた人々によって献げられるところに価値があるということです。そのような人々を主は喜ばれ、その人々を通して主は御業を現わします。誰かに強いられるのではなく、気乗りせずに参加するものではありません。

心を動かされた人がいれば、そうでなかった人もいたでしょう。この箇所から分かるのは、心を動かされた人々は、動かされなかった人々を批判していません。信仰が成熟していなかったり、霊的な気づきがなかったり、何らかの事情で加わらなかつた人々をモーセをはじめ人々は良しとして受け入れたということです。

逆を言えば、主に仕えることの自発性や主体性が損なわれないように群れを守ったということです。私は一生懸命仕えているのになんであなたは何もしないのか、と言う必要はありません。心を動かされた人々が協力するところに十分な力が現われます（三六5〜7）。むしろ、仕える人々の背中を見て、新たに心を動かされる人が起こされるように祈ればよいのです。

ところで、そもそも人々の心を動かしたものはなんだったのでしょうか。それは、主に救われたことの喜びです。彼らにとって、幕屋の建設を呼びかけた主とはどんな御方だったか。エジプトでの虐げから救い、荒野の旅を守り、金の子牛を造った背信を赦してくださった御方です。自分がどこから救われてどんな恵みに生かされているかを知り、その恵みに気づくとき、その人の心は動かされ、自ずと主に仕え、主に献げたいと思うものです。（泰）

1月22日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野牧師 美名子姉

招 詞 イザヤ書 60章 2節

会衆賛美 聖歌 25

会衆賛美 主はぶどうの木 (2回)

主の祈り

交 読 詩篇 111篇 1～10節

礼拝祈祷

使徒信条

聖書朗読 出エジプト記

36章 1～3節

説 教 心を動かされた者

荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌 615

献 金

頌 栄 聖歌 376

祝 祷

報告

後奏 感謝祈祷

【招 詞 (主の招きのことば)】

イザヤ書 60章 2節

「見よ、闇が地をおおっている。暗黒が諸国の民を。しかし、あなたの上には主が輝き、主の栄光があなたの上に現れる。」アーメン

【本日の予定】

■礼拝映像ネット配信 9時から

■第1礼拝後、第2礼拝後

会堂清掃

■小学校礼拝 3階 10時半

お話し 穂谷牧師

■ホザナ礼拝 6階 10時半

お話し 林修養生

■会長会 牧師室

10時 15分～10時 45分

■バイブルカフェ 12時 15分～

■理事会 牧師室 15時半～

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈祷 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈祷 司会者

報告 林修養生

配信

■第2礼拝

礼拝祈祷 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈祷 司会者

報告 司会者

会場

受付

【次週礼拝説教】 荻野牧師

出エジプト記

40章 16～38節

「礼拝から始まる」

【デイポーションについて】

新年がスタートして3週間が過ぎました。デイポーションや聖書通読は進んでいるでしょうか？

寒い季節はなかなか朝は起きられずに聖書を読む時間が削られてしまふという人もいれば、寒いから暖かい部屋にすることが多いので聖書を開く時間が増えるという人もいますかもしれません。

私たちは季節の変化や様々な出来事の中で生きています。ある出来事が自分の気持ちを前向きにして物事に取り組む意欲を湧き立たせることもあれば、意気消沈して朝起きるのにつらいこともあるでしょう。

気分をコントロールすることは容易ではありません。だからこそヘンリ・ナウエンの言葉を心に留めたいと思います。

「とにかく起き上がって福音書を読み、詩篇を祈り、新しい日を神に感謝する時を持つなら、気分が支配されることはなくなるでしょう。」
少しずつでも、毎日でなくても、朝でなくても、聖書に触れる時間を大事にしたいものです。

【新年度準備のためにお祈りください】

〔蒲田シオンのこと〕

年度の切り替わりへと向かっています。蒲田シオンでも新年度に向けて役員会で予算や行事計画を作成しています。

限られた時間で準備を進めている役員の兄弟姉妹のためにお祈りください。コロナ禍が続く中での舵取りは容易ではありません。聖霊の導きを捉え、そこに従って進めるように祈りの応援をお願いします。

コロナ禍で集まるのが制限されてきました。まだまだ油断はできませんが、できることにチャレンジしていきたいと願います。昨年のクリスマスには映画上映会を行いました。感染リスクの低い企画を中心に計画できたらと思います。野外でのプログラムも行えるでしょう。墓地礼拝はかねてから7月の暑い時期から変更したいと考えています。良き知恵が与えられるようにお祈りください。まずは教会総会(予算)を対面で行いたいと思っています。

【教団のこと】

教会だけでなく、教団も新年度を迎え、3月の年次総会に向けて準備が進められています。

今年の年次総会では、7名の理事の改選を行います。教職理事4名と信徒理事3名です。主の導きがあるようにお祈りください。

今年の教団カレンダーをご覧になられた方は、霊修会や各キャンプの日程が書かれていないのに気付いたかもしれません。コロナ禍もあり日程が決まりませんでした。追っておの準備も進んでいます。追ってお知らせしますが、教団と6教会のシオンの歩みが聖霊に導かれて、困難な中にも主において実を結ぶことができるようにお祈りください。

【今週の予定】

23日(月) 消防立ち入り検査

13時半～ シオン館

その後、教会堂

26日(木) 祈祷会 10時半～